

新型コロナ
支援事業

姉妹都市 苫小牧市を食べて応援！ ご当地グルメ「ホッキ貝カレー」全小中学校の給食で提供

長引く新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、需要が減少している姉妹都市の産業を支援するため、北海道苫小牧市の名産品「ホッキ貝」を、国の補助を活用して学校給食で提供することになりました。

姉妹都市の産業を応援すると共に、歴史的つながりや、「ホッキ貝」の漁獲、加工などの生産活動を学び、姉妹都市の産業や食文化を知る機会とし、全小・中学校・義務教育学校で実施します。実施予定は次のとおりです。

1 献立内容

「ホッキ貝カレー」

2 提供期間

9月22日（水）～9月29日（水）の期間中に各校で提供

3 対象校

全小・中学校・義務教育学校 全学年

4 画像・食育教材・児童の感想等の提供

- (1) 児童が給食を食べている写真の提供
給食を食べている様子、配膳の様子など
- (2) 給食の写真の提供
出来上がった給食写真
- (3) 調理作業の写真の提供
- (4) 「ホッキ貝カレー」を食べた児童の感想等
- (5) 当日、教室で活用した食育教材の提供



▲ホッキ貝イメージ

※ 緊急事態宣言中の事業により、学校での現地取材はお受けしていません。

※ 市で撮影した写真や、児童のコメント等を提供させていただきます。